

図書室だより

【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日

町民センター3階

※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

ちょっとした奇跡

緑川聖司 著

図書館は楽しい場所ですが、でも思わぬところにミステリーが潜んでいます。小学5年のしおりは本が大好きで、二日に一度の図書館通いをしている女の子です。図書館でしおりは本との出会いだけでなく、書架の間でドックフードの缶を見つけたり、本を探す人と不思議な出来事に遭遇したりします。この本は読んでいくうちに、図書館の上手な利用の仕方やマナーなども自然にわかる一冊になっています。



新着本案内（主なもの）

★ 一般書 ★

- ・「信玄の狗」 楠木誠一郎
- ・「3652」 伊坂幸太郎
- ・「吉原十二月」 松井今朝子
- ・「天皇さんの涙」 阿川弘之
- ・「メロディ・フェア」 宮下奈都
- ・「盤上のアルファ」 塩田武士
- ・「純平、考え直せ」 奥田英朗

★ 児童書 ★

- ・「ねてるのだあれ」 山内ふじ江
- ・「パンツのはきかた」 佐野洋子
- ・「ぼくがいちばん！」 ルーシー・カズンズ
- ・「おにはそと」 せなけいこ
- ・「ダレ・ダレ・ダレダ」 高島純

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「なかよしモムシ」をつくります
日時 3月26日(土)10:00～
持ち物 黒の油性サインペン
対象 5歳（保護者同伴）～
場所 町民センター2階 小会議室A
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会（第2土曜日、第3水曜日）

日時 3月12日(土)10:30～
3月16日(水)15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

我が家のペット紹介

No. 79

小島ころ君（上延沢）
柴犬 1歳

ドッグランが
大好きです



ペットのふんは飼い主さんが
責任を持って持ち帰りましょう！

ご自宅のペットを紹介しませんか？
募集中です。詳しくは自治活動応援課まで。
☎ 84-0315

*文芸

開成町俳句協会

俳句

ともしび短歌会

短歌

一月詠

御詠歌の鉦と鈴もてリズム良く
唱へる歌詞に悟されゆくなり
府川ハツエ

冬なれど穏しき一日過ぎゆかむ
まろき様なる月は昇り来
諸星 末子

乾きたる冬の斜光の入り来る
み寺の境内動くものなし
湊 きみ子

次世代につなぐ命や竹の秋
波多野すみ枝

人垣の大道芸や日脚伸ぶ
老梅や四方の香仰ぐ野点傘
水温む登校の子等背筋伸び
水温むはしゃぐ園児の太鼓かな
下沢 操子

遠藤シズ子
鳥海美代子
瀬戸 悦子
下沢 操子

「竹の秋」は春の季語である。竹の古葉が地中の筍を育てるために、黄ばんでらはらと落葉する。そして秋、竹の春となって次世代に新しい命をつなぐ。

近藤 正臣 選

冬は季節は、とかく身心が萎えがちになり、誰もが穏やかな日々を願う。作者も同様で、丸い形の月が昇って来る情景に、今日も一日無事に過ぎそうだと実感し、感謝の念で眺めている様を詠んだ。

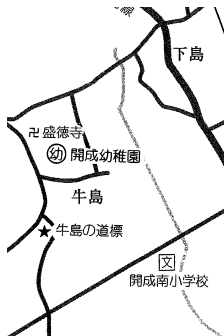
冬の乾燥した大気の中、斜光が差し込む夕方のお寺の境内は、声も動きも全くない静寂さに包まれている、と詠み、時の経過と共に、季節、一日の変化、人気の有無までも感じ取られる面白い歌。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、
歴史を再確認してみませんか。
開成町に残る遺蹟を紹介します。



道標



道標とは、道路の行き先、現在地などを記した標識のことです。江戸時代には、他界した者の供養を兼ね石で造られました。明治以降は、各地の青年団により石や木製のものが主な四ツ辻に建てられました。

現在、町内に残る道標は二基あり、江戸中期から明治にかけて建てられた石造物です。一基は延沢の田四ツ角、本美サイクルの東側にあります。舟型の光背を持ち、中央に交通安全を見守る馬頭観音像、その右側に「横さい志よう大山道（横は最乗寺と大山をつなぐ道の意味）」、左側に「堅をたはら道（たてに南に行く」と小田原への道の意味）」と彫られています。

もう一基は、牛島の開成幼稚園の横を南に二百メートルほど下った分かれ道に建っています。中央に「左小田原道」、横に「牛島有隣会」とあります。有隣会とは、明治中期の牛島青年団のことです。昔、小田原藩へ年貢米を運ぶ道だったことを考えると、当時の往来のにぎわいが偲ばれます。いまは町の健康ウォーキングの「のんびりコース」にあります。探してみてください。

（文責 開成町文化財保護委員会 府川 京子）

※お子さんも読めるようにふりがなを付けています。

駐在所 だより



松田警察署

延沢駐在所

☎83-5434

吉田島駐在所

☎83-5457

子どもを非行から守りましょう

春休みから新学期にかけては、進学や進級などの環境変化に伴い、子どもが精神的に不安定な状態に陥りやすく、非行に走るなど、犯罪被害に遭う危険性が高まります。

○親子の対話を深めましょう

子どもとコミュニケーションをとらず、無関心になっていませんか？

親子の接する時間が多くなる春休みを利用して、コミュニケーションを図りましょう。

○何かある！いつもと違う子の姿

非行に走る前、子どもたちは必ず何らかのサインを発しています。言葉遣い、服装、持ち物の変化や、深夜の外出、無断外泊など…。

少しでも変化が見られたら、非行の「兆し」かも知れません。

○万引きは重大な犯罪です

安易な気持ちで万引きをしてしまう子どももいるようですが、万引きは、10年以下の懲役又は50万円以下の罰金が科せられる重大な犯罪です。

また、より深刻な犯罪への入口になる犯罪の一つとも言われています。

家庭や地域で子どもたちが引き起こす事態の深刻さを考えさせ、万引きをさせない環境をつくりましょう。